

アジアサイエンスキャンプ 2019 参加者募集

■概要

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）は、2019 年 7 月 28 日から 8 月 3 日に中国で開催される第 13 回アジアサイエンスキャンプに派遣する物理、化学、生物学、数学分野の科学に興味を持つ、高等学校、中等教育学校、高等専門学校、大学、大学校の生徒または学生（高校 2 年－大学 2 年相当）を募集します。

■アジアサイエンスキャンプとは

アジアサイエンスキャンプ(ASC)は、ノーベル賞学者や世界のトップレベルの研究者による講演、講演者がリードするディスカッションセッションなどにより、アジアからの参加生徒・学生が直接科学の面白さを体験し、また生徒・学生同士の交流を深める場です。2005 年のリンダウ会議の際、小柴昌俊博士（2002 年ノーベル物理学賞受賞者）と Yuan T. Lee 博士（1986 年ノーベル化学賞受賞者）の間に、アジアの若者のためにトップレベルの学者と若い生徒・学生の交流プログラムを始めたいと発案されました。これまで、台湾・台北（2007 年）、インドネシア・バリ（2008 年）、日本・つくば（2009 年）、インド・ムンバイ（2010 年）、韓国・テジョン（2011 年）、イスラエル・エルサレム（2012 年）、日本・つくば（2013 年）、シンガポール（2014 年）、タイ・パトゥムターニー（2015 年）、インド・バンガロール（2016 年）、マレーシア・カンパー（2017 年）、インドネシア・マナド（2018 年）で開催されています。

■アジアサイエンスキャンプ 2019 (Asian Science Camp 2019)

第 13 回のアジアサイエンスキャンプは 2019 年 7 月 28 日から 8 月 3 日まで中国・汕頭市で開催されます。プログラムはすべて他国の生徒・学生とともに英語で学びます。JST は日本からの派遣の事務局として、アジアサイエンスキャンプ 2019 への日本からの参加者の募集と選抜、中国の組織委員会への参加登録を行います。世界のトップレベルの科学者から講義を受けて、アジア各国の仲間たちと出会うことができるチャンスです。参加を希望される方は、下記の募集要項にしたがって奮ってご応募ください。

☆アジアサイエンスキャンプ 2019（中国）ホームページ

<http://www.asc2019.com.cn/Default.aspx>

講師やプログラムの内容は、開催国より随時発表されます。

■アジアサイエンスキャンプ 2019 参加者募集要項

アジアサイエンスキャンプ 2019 に日本派遣団として参加する派遣員を、次の通り募集します。

※本募集は平成 31 年度政府予算の成立を前提としています。また予算の成立状況の他、開催国の事情等により、実施スケジュールや内容の変更・日本からの派遣中止が生じる場合があることを予めご了承ください。

派遣期間

2019 年 7 月 27 日（土）～8 月 4 日（日）（予定）

※ 上記はキャンプの開催期間（2019 年 7 月 28 日～8 月 3 日）に加え、日本出発前の集合、渡航、および帰国後の解散の時間が含まれます。また交通手配等により、派遣期間が若干変更される場合があります。

募集人員

派遣員および派遣員リーダー 計 20 名

※ 高校生の派遣員を主として募集し、大学生の派遣リーダーを若干名募集します。

応募資格

次の「応募条件」および「参加条件」について、すべてを満たすこと。

[応募条件]

- (1) サイエンスキャンプ開始時点で、日本国内における次の学校・学年に在籍し、かつ年齢が 16 歳から 21 歳である者
【派遣員】高等学校または高等専門学校（2～3 年生）、中等教育学校（後期課程 5 年生以上）
【派遣員リーダー】高等専門学校（4～5 年生）、大学または大学校（2 年生以下）
- (2) 自然科学（物理、化学、生物学）または数学に高い意欲と秀でた能力を有し、英語による議論、講演など全日程に参加できる者。
- (3) 日本派遣団の一員として相応しい行動が取れる者。派遣員リーダーは、派遣員をリードする役割を担える者。

※なお、アジアサイエンスキャンプのプログラムはすべて英語で行われるため、CEFR（注 1）で B1 ランク（英検 2 級程度）以上の英語力を持つことが推奨されます。

[参加条件] 上記の参加条件に加え、日本派遣団として安全な派遣を確保するため、下記を満たすことを応募条件とします。

- ①未成年者は、アジアサイエンスキャンプ 2019 への参加に関して保護者の同意が得られており、派遣が決定した際に、本人および保護者より派遣に関する同意書の提出が可能であること。
20 歳以上の応募者は、派遣が決定した際に、派遣に関する同意書を本人より提出できること。
- ②有効期限満了日が【2020 年 2 月 5 日以降】のパスポートを所持していること（注 2）。パスポートを所持していない場合および有効期限が不足する場合は、パスポートの取得又は更新を、採択通知の受領後 10 日までに行い（注 3）、旅券番号ほか必要情報の提出ができること。（期限までに要件をみたすパスポートを取得できない場合、合格の資格を失う場合があります。）

注 1 CEFR : Common European Framework of Reference for Languages の略称。語学のコミュニケーション能力別のレベルを示す国際標準規格として、欧米で幅広く導入されつつある

注 2 アジア諸国では、入国にあたりパスポート残存有効期間に条件を設けている国があることから、本事業における選考は必要に応じパスポートの有効期限を考慮することとし、アジアサイエンスキャンプ 2019 募集では、派遣期間の終了予定日にパスポートの有効期限が 6 カ月以上残っていることを採択の要件とします。(中国への入国に要するパスポートの残存有効期間は「推奨事項」としてアナウンスされていますが、日本派遣団として安全な団体行動を確保する必要から、本文のとおり一律の応募条件とします。)

注 3 採択通知は 6 月上旬に送付予定です。パスポートの発行や更新手続を必要とする場合は、極力、応募と平行して手続を進めるようご協力下さい。なお採択結果に関わらず、パスポートの取得又は更新費用は、自己負担でご対応下さい。

提出書類

※ 提出書類は、原則パソコンで Microsoft Word 等で作成をお願いいたします。難しい場合は、応募書類の請求時にアジアサイエンスキャンプ事務局までご相談下さい。

(1) 【必須】アジアサイエンスキャンプ 2019 参加申込書

用紙は、応募手順 (p6) の手続きに従い、アジアサイエンスキャンプ事務局まで請求して下さい。

(2) 【必須】成績証明書

※ 現在所属する学校 (大学 1 年生の場合は卒業時) の成績証明書または通知簿の写し。

※ 日本語または英語で記載しているもの。

※ 評価基準が 5 や 10 段階評価等以外で不明確な場合は、評価基準を簡単に付箋等に明記し、ご提出ください。

(3) 【必須】推薦書 (A4 用紙 2 ページ以内、様式自由、日本語または英語で記載)

① 担任・指導教員等 (英語の能力や科学に対する興味・意欲について)

- 現在所属する学校または高校時代の担任、あるいは指導教員による推薦書。
- 推薦書には、1) 英語の能力 (読み書き、英会話及び総合評価)、2) 科学に対する興味、3) ASC プログラムに参加する意欲、の三つの観点から記載してもらってください。

② 学外活動の指導者・関係者 (学外活動における積極性や活動実績について)

- 現在または高校時代の学外活動 (ボランティア活動、地域活動、科学コンテスト出場等の他、生徒会活動・部活動など課外活動も構いません) の指導者・関係者 (活動の先輩、OB・OG 等でも構いません) による推薦書。
- 推薦書には、1) 活動における積極性・協調性、2) 取組の実績、3) ASC プログラムに参加する意欲、の三つの観点から記述してもらってください。

※ 家族による推薦、自己推薦は不可。

※ ②学外活動の指導者等が、①の担任・指導教員等と同一の場合は、お手数ですが①②の別個に推薦書を得て下さい。ただし、応募書類としての推薦書は、指導者からの評価と共に、応募者が、多方面と信頼関係を構築できていることを確認するため求めています。可能な限り、別個の関係者より取得して下さい。

※ 課題活動に参加されていない場合、推薦書は①のみご提出ください。

(4) 【必須】英語関連の証明書

英検、TOEIC、TOEFL、IEKTS、BULATS 等の証明書の写しを添付。

※ 本募集への応募は、CEFR で B1 ランク (英検 2 級程度) 以上の英語力を持つことが推奨されます。詳しくは、応募資格 (p2) をご確認ください。

※ 各資格・検定試験と CEFR の対応は、各資格・検定試験の実施団体がホームページ等で公開しています。不明な場合はアジアサイエンスキャンプ事務局までお問い合わせください。

提出課題

※ 提出課題は、原則パソコンで Microsoft Word 等で作成をお願いいたします。難しい場合は、応募書類の請求時にアジアサイエンスキャンプ事務局までご相談下さい。

(A) アジアサイエンスキャンプ講義動画の視聴による課題

応募者は、これまでに行われたアジアサイエンスキャンプ講義（以下、「ASC 講義」といいます）から、下記のいずれか一つの講義動画を全編視聴し、課題①および課題②を提出して下さい。

【講義動画】

①	物理 (ASC2016) Prof. Takaaki Kajita (2015 年ノーベル物理学賞) 「Discovery of Neutrino Oscillation」
②	生物学 (ASC2017) Prof. Suzanne Cory 「Regulating Cell Life and Death in Health and Disease」
③	化学 (ASC2015) Pro. Robert Huber (1988 年ノーベル化学賞) 「Protease control in Health and Disease & my Experience with its Translation into Practice & Business」
④	数学 (ASC2016) Prof. Cédric Villani (2010 年フィールズ賞) 「On Particles, Stars and Eternity」

※ 動画はインターネットで公開されています。課題の対象となる動画の URL は、応募手順 (p7) の手続きに従い、事務局に応募資料の請求を頂いた方に、折り返しご連絡します。

※ 視聴する動画は、自由に選択してください。(分野毎の定員などはありません。また、ご自分の興味やバックグラウンドに関わらず、英語の聞きやすさや課題のまとめやすさで選んで構いません。)

課題	規定・文字数
<u>課題①（日本語）「視聴した ASC 講義の要旨」</u> ● 視聴した ASC 講義動画の冒頭 10 分程度について、内容を日本語で要約して下さい。 詳細な時間は、資料請求後の応募書類のご案内の際、お伝えします。 ● 要約にあたり、応募者の意見・感想は含めないで下さい	【用紙サイズ】 A4 サイズ（縦） 【フォント】 MS ゴシック 11pt 【行間】 1.5 行 【文字数】 <u>700 字以上 850 字以内（厳守）</u> ※冒頭に課題番号・表題・氏名を記載（文字数には算入しません）
<u>課題②（英語）「講師への質問とその理由」</u> ● 講義後のディスカッションを想定し、聞いてみたい質問一つ英文で記載して下さい。またその質問をしたいと考えた理由を英文で記載して下さい。 ● 対象とする ASC 講義は、課題①で選択した動画と同一のものとしますが、質問は、全編を通した視聴に基づくものとして下さい。	【用紙サイズ】 A4 サイズ（縦） 【フォント】 MS ゴシック 11pt 【行間】 1.5 行 【文字数】 質問及び理由をあわせ 200 語程度。 ※冒頭に課題番号・表題・氏名を記載 ※質問と理由の間は、空行を入れて下さい

(B) 作文課題

課題	規定・文字数
<u>課題③（英語）「これまでの科学の取組み」</u> ● これまで自分自身の興味から行った科学分野（物理、化学、生物学、数学）の取組みを紹介し、取組みを通して得た、人に伝えたい面白さを英文で記述してください。	【用紙サイズ】 A4 サイズ（縦） 【フォント】 MS ゴシック 11pt 【行間】 1.5 行 【文字数】 400 語程度 ※冒頭に課題番号・表題・氏名を記載
<u>課題④（日本語）「将来の取組み」</u> ● 応募者は、下記の URL を参考とし、国連が 2030 年度までの達成目標を掲げる SDGs（持続可能な開発目標）について、17 目標の中から、達成に興味ある目標または将来希望する進路に関係が深い目標の一つを選んで下さい。 ● そして、選んだ目標について、自分のこれまでの体験や身近な日常とつながる課題を見つけて説明し、解決に向け取組みたい研究テーマ・新技術・活動等を提案して下さい。	【用紙サイズ】 A4 サイズ（縦） 【フォント】 MS ゴシック 11pt 【行間】 1.5 行 【文字数】 850 文字程度 ※冒頭に、課題番号・表題・氏名、および選択した SDGs 目標を記載。

※ 持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals: SDGs）は、2015 年 9 月の国連サミットで採択され、国連が 2030 年までの達成を掲げる 17 の目標です。SDGs は発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサルな目標として、日本も積極的に取り組んでいます。また、SDGs の達成において、科学技術イノベーションは、持続可能性に関する諸課題の解決や、より良い政策決定に資する科学的根拠を提供することに、強い期待が寄せられています。

（参考 URL） <https://www.jst.go.jp/pr/intro/sdgs/index.html>

応募手順

(1) 書類請求

- ①応募者は、ダウンロードした「アジアサイエンスキャンプ 2019 応募書類・請求フォーム」に必要な事項を入力し、派遣事務局（intlcamp@jst.go.jp）まで電子メールに添付してお送りください。
- ②折り返し、派遣事務局より応募書類（提出書類および提出課題）に関する案内を返信します。請求後、2 営業日以上たっても返信が届かない場合、派遣事務局までお問い合わせください。

※応募書類は、書類請求を送信頂いたメールアドレスに返信します。

ご利用のスマートフォンや携帯電話で、迷惑メール対策のため特定ドメイン以外のメールや PC からのメールを拒否するような設定をされている方は、派遣事務局からの返信メールが受信できるよう、自己責任でご対応下さい。

(2) 応募書類の提出

送付された案内に基づき、下記の応募締切までに、応募書類（提出書類および提出課題）を、派遣事務局まで郵送して下さい。

※ 応募書類の提出は、原則として日本国内からの郵送（普通郵便、レターパック、書留等）に限ります。（ゆうメールでは、信書は送付できませんのでご注意ください。）

【郵送先】

〒332-0012 埼玉県川口市本町 4-1-8 川口センタービル 14F

国立研究開発法人科学技術振興機構 理数学習推進部（才能育成グループ）

アジアサイエンスキャンプ派遣事務局

応募受付期間

【応募用紙の請求受付期間】

2019 年 4 月 1 日（月）～ 4 月 19 日（金）正午まで

【応募締切】

2019 年 4 月 26 日（金） 当日消印有効

※ 締切後の応募書類は受理できませんので返送いたします。余裕をもって送付してください。

選考

- ・ 応募書類を厳正に審査し、参加者を決定します。選考結果は、6 月上旬に書面通知の予定です。
- ・ 選考過程で事務局より問い合わせをする場合がありますので、応募書類には必ず連絡が付く電話番号と、応募者本人が使用するメールアドレス（携帯のメールアドレスは不可）を記載してください。

電話および電子メールにより本人と連絡がつかない場合、参加決定が取り消される場合があります。（PC のメールアドレスを持っていない場合、Gmail や Yahoo メールを無料で取得することができます。）

参加費用

無料

※ 開催国到着後の参加者の滞在に係わる費用（宿泊、食事、交通費）は、開催国の組織委員会が負担します。ただし、滞在中のクリーニング代など個人的費用が必要な場合は、参加者にご負担いただきます。

※ 参加者の最寄り拠点駅（鉄道または空港）から開催国までの交通を JST が負担します。ただし、自宅から最寄り拠点駅までの移動交通費（バス等）は、参加者にご負担いただきます。

※ 渡航に関わる海外旅行傷害保険は JST で加入手配いたします。

個人情報の取扱いについて

ご提供いただいた個人情報は、国立研究開発法人科学技術振興機構（以下「JST という」）における「個人情報保護規則」に基づき、次のように取り扱います。ご応募される方は、以下に記載された内容について同意された上、ご応募くださいますようお願い致します。

- ・ 提供された個人情報は JST が適正に管理します。
- ・ JST に提供された個人情報は、アジアサイエンスキャンプ事業における選考や関連する各種のご案内及び本事業の運営・改善のための申込者の実数・分布等の分析に使用します。個人情報の提供は任意ではありますが、必要な情報が提供されない場合は事業の実施・参加に支障が生じる可能性がありますので、ご了承ください。
- ・ 提供された個人情報に関して、提供者本人（本人が未成年の場合は保護者を含む）から開示請求があった場合、また、開示の結果、訂正、削除等の請求があった場合は、速やかに対応します。
- ・ アジアサイエンスキャンプが終了して一定期間経過後、廃棄いたします。

その他

- ・ 開催国の出入国は日本派遣団としてまとまって行動します。
- ・ 期間中は、現地事務局ならびに引率者の指示にしたがって行動してください。
- ・ 派遣終了後、報告書の作成にご協力いただきます。

参考情報

※ これまでに開催されたプログラムや講義風景などがご覧になれます

☆ アジアサイエンスキャンプ 2013（日本）ホームページ

<http://www.jst.go.jp/cpse/eng/asc2013/>

☆ アジアサイエンスキャンプ 2018（インドネシア）ホームページ

<http://asc2018.or.id/>

問い合わせ先

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）理数学習推進部（才能育成グループ）

アジアサイエンスキャンプ派遣事務局

電話：048-226-5665 FAX：048-226-5684 Email：intlcamp@jst.go.jp